



第109図 岩手県南部を中心とした古代堅穴住居跡変遷図

参考資料(2) 岩手県南部を中心とした古代の住居跡の変遷(第109図)

表記について概述する。時期区分については既述の編年表にしたがう。

第I～IV群期 古墳時代に相当するものであるが、I・II群期にはカマドが付設されない。四隅の角張った均正な正方形プランと、対角線上にのり、やや中央による4本の主柱穴をもつ。貯蔵穴様のものは既にある。規模に異同のあるものが組みあわせになる。II群期にはカマドが付設されはじめると、その状況にはばらつきがあり、斉一性はない。長大な煙道は未確認である。IV期群にはカマド本体・長い煙道部をともに備えたものも出現し始める。

以上の時期の竪穴軸方位は変化に富み、一定の傾向性は示さない。なおIII群期の西大畠例には主柱穴以外に西辺中央の壁直下に柱穴様の2ヶのピットもある。

第V・VI群期 四隅に軽い丸味をもつほぼ正方形なプランと、先と同様に対角線上にのるが如くに配置された4本(稀な大規模例では6本以上)の主柱穴、北壁に付設されたカマドなどを有する構造をもつ。斉一性はかなり強く、構築法の確立を示すかのようである。ただし長大な煙道の有無にはばらつきがある。明白なそれをもたない若干例も混在する事実がある。カマド焚口部には礫を門状に配置する。それより古期と思われる例では、カマド本体部内外両面にも礫を用いるものがあり、さらにカマドの対辺(多くは南壁)中央壁直下にも柱穴様のものも例がある。建物主軸方位は「磁北にほぼ一致→やや西に偏す」という変遷をたどるらしい。一辺8m～6m程度の大規模なものと、5m以下の中小規模のものがセットになる。

VII群期 プラン・主柱穴配置などは前代に共通するが、建物主軸方向はさらに西に偏し、かつカマド袖部への土師器類(長胴甕型を主とするが、各種の器種がある)の芯としての埋置が見られはじめると、主柱穴は4本を中心とするが、6本のものもあり、さらにその存在が不明確なものも増加する。前代に比し不均整なプランをもつのが増加する。

VIII群期以降 集落跡と思われる遺跡の例のみをとる。変化の度合がきわめて大きい。

(1) 柱穴配置 主柱は4本と思われるが、そのすべて、あるいは2本が壁直下に寄るものも増加する。さらに柱穴配置の判断としない例がさらに増加する。

(2) 側壁 板材を用い、「腰板乃至壁風」のものをつくり出す例も増加する。その四隅には支柱様のものが伴う。

(3) カマド構築部位 北壁も継続するが、東壁、南壁などへ変化する例が圧倒的に多くなりかつ壁中央ではなく若干いすれかに偏した位置となる。江釣子村猫谷地においては南壁→東壁という変遷を示す。

カマド構築法は、本体にも板状礫を用いるもの、煙道部に甕を横転位に据えるものなども加わる。所謂くり抜き式のものが多い。

(4) (竪穴住居跡以外に) 掘立柱建物・井戸・大溝も集落の構成要素に加わる例も現われる。

X～XI群期 長方形プランで、側壁直下に多々の柱穴をもつ例が増加する。カマドなど特別な施設はほとんど見られない。これらの中には中世に入るものも含まれる可能性がある。

第Ⅲ群期以降については、遺跡の性格別の遺構の把握（構造・組みあわせ）が必要である。それは掘立柱建物についても同様である。

註①高 山 遺 跡 TK02住	高山遺跡 岩手県水沢市文化財報告書第1集 高山遺跡調査委員会・水沢市教育委員会 昭和53年3月
②猫 谷 地 遺 跡 CH74住	猫谷地遺跡 CH74住居跡 岩手県教育委員会調査
③面 塚 遺 跡 SI02住	面塚遺跡 現地説明会資料 水沢市教育委員会昭和55年6月
④西 大 畑 遺 跡 Cf53住	西大畠遺跡 岩手県文化財調査報告書第60集 東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書XII 岩手県教育委員会・日本道路公団 昭和56年3月
⑤膳 性 遺 跡 G-15住	膳性遺跡 現地説明会資料 (財)岩手県埋蔵文化財センター 昭和54・55年
⑥〃 J-7住	なお、膳性遺跡については、高橋与右衛門氏より各種教示をうけた。深謝する。
⑫〃 F-11住	
⑯〃 C-2-2住	
㉒〃 G-8-1住	
㉓〃 H-2	
⑭玉 貫 遺 跡 I-12-1住	玉貫遺跡 現地説明会資料 (財)岩手県埋蔵文化財センター 昭和55年
㉘〃 C-11住	
⑦今 泉 遺 跡 Bg62住	岩手県文化財調査報告書第60集 東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書XII 岩手県教育委員会・日本道路公団 昭和56年3月
⑧〃 Bd59住	
⑨〃 Bd03住	
⑩〃 Bi24住	
⑪〃 Cb24住	
⑯石 田 遺 跡 Df59住	岩手県文化財調査報告書第61集 東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書XII 岩手県教育委員会・日本道路公団 昭和56年3月
⑯〃 Dd03住	
⑰〃 Df09住	
⑲〃 Cb21住	
⑳〃 Cf56住	
㉑〃 Da56住	
⑯尻 引 遺 跡 第6号住	尻引遺跡 尻引遺跡調査報告書 文化財調査報告書第17集 北上市教育委員会 昭和52年3月
㉔上平沢新田遺跡 Ah15	上平沢新田遺跡 岩手県文化財調査報告書第52集 東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書III 岩手県教育委員会・日本道路公団 昭和55年3月
㉕鳥 ノ 海 A 遺 跡 第2号(Aj56)	鳥ノ海A遺跡 岩手県文化財調査報告書第59集 東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書X 岩手県教育委員会・日本道路公団 昭和56年3月
㉖〃 第3号(Ag53)	
㉗〃 第4号(Af03)	